

2024年度 福岡 FA ジュニア委員会主管中央大会規定

以下の項目について規定を定める。

※本規定は、本会が主管する下記3つの福岡県中央大会の規定である。

- ①JFA 全日本 U-12 サッカー選手権大会福岡県中央大会
- ②九州ジュニア (U-11) サッカー大会福岡県中央大会
- ③九州ジュニア (U-12) サッカー大会福岡県中央大会

1 競技のフィールド

サイズは以下を基本とする。

フィールドの大きさ：長さ（タッチライン）68m × 幅（ゴールライン）50m

ペナルティーエリア：12m／ペナルティーマーク：8m／ペナルティーアークの半径：7m

ゴールエリア：4m／センターサークルの半径：7m

2 ボール 大会事務局が準備したもの又は主審が指定した4号球を使用する。

3 シューズ シューズはゴム底のスパイクを使用すること。

4 競技者・交代要員の数

【競技者の数】

- ・8名の競技者（うち1名はGK）が試合に出場する。
- ・一方のチームが8名に満たない場合は試合を開始しない。（0-3で敗戦とみなす）
- ・試合中に怪我等による人数不足により8名に満たなくなった場合もそのまま試合を続行する。ただし、6名に満たなくなった時点で終了とする（0-3で敗戦とみなす。）

【交代要員の数】

- ・試合に出場できる人数は原則20名以内とし、ベンチには最大12名の交代要員が入ることができる。（交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。）

【その他】

- ・競技者が退場を命じられた場合、その競技者のチームはフィールドでプレーする競技者を補充することができる。また、退場を命じられた競技者は、次の試合には出場できないことを原則とする。（一日に2試合以上行うことから、競技者への配慮として、出場できない場合もベンチに入ることを認める。）

5 ベンチ入りするチーム役員（指導者【選手への戦術的な指示やコーチングを行う者】、トレーナー、ドクター、引率者等）の数は、2名以上3名以下とする。これに反した場合には、チーム役員に対し大会規律委員会より懲罰を科す。）

なお、ベンチ入りするチーム役員については、育成年代の選手を指導する観点から、以下の条件を満たすことを原則とする。

- ・1名以上の指導者が（公財）日本サッカー協会公認指導者ライセンス（D級コーチライセンス以上）を必ず有すること。
 - ・指導者のみ、試合前のチェックにおいてライセンス証を提示すること。（電子媒体、紙媒体いずれも可）→チェック済みの指導者のみ、指導者を識別するためのプレート配布する。選手への戦術的な指示やコーチングを行う際は、プレートを装着した指導者1名が、テクニカルエリアに立って行うこと。（立ってコーチングできない場合は、事前にその旨大会本部に申し出る事）
- ※福岡県サッカー協会ジュニア委員会では、4種における適切な指導環境を整えることを目的に、コーチングを行う指導者を明確にする（1名がテクニカルエリアに立って指導を行う）ことに取り組んでいます。**
- ・試合開始の合図から試合終了の合図までの間、指導者以外の選手への戦術的な指示やコーチングは一切認めない。

6 審判員

主審1名、副審2名で行う。なお、中央大会3回戦以降については、補助審判員（第4審）を適宜配置する。

※各地区ブロック大会については、各地区で適切に設定すること。

7 テクニカルエリア

設置する。

8 競技者の用具・ユニフォーム

- ①（公財）日本サッカー協会のユニフォーム規程に基づいたユニフォームを使用しなければならない。
- ②本競技会に登録した正・副2組のユニフォーム（シャツ、ショーツ及びソックス）を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。なお、正・副の2色については明確に異なる色とする。
- ③ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、本競技会主催者が認める場合、主たる色が同色・同系色であれば着用することができる。
- ④GKのユニフォームについて、ショーツ、ソックスはフィールドプレイヤーと同色・同系色でも良いものとする。
- ⑤主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
- ⑥前項の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
- ⑦ソックスにテープ又はその他の材質の物を貼り付ける、外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
- ⑧セパレート式のソックスについては、踝（くるぶし）から上の部分が同色・同系色で良いものとする。
- ⑨アンダーシャツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
- ⑩アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
- ⑪シャツの前面・背面に参加申込の際に登録した選手番号を付けること。

- ⑫ユニフォームの色、選手番号の参加申込締切日以後の変更は原則認めない。
- ⑬ユニフォームへの広告表示については、日本サッカー協会「ユニフォーム規程」に基づき認められる。但し、本大会の協賛・協力関係と類似したスポンサー広告やアルコール等、未成年チームにふさわしくない広告については禁止とする。

クラブ傘下のチームのユニフォームについては、(公社)日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)のユニフォーム要項に認められたユニフォームであれば使用を認められる。ただし一部でも仕様が異なる場合は認められない。ユニフォームへの広告表示については本号14に準じる。

【補足】

(公財)日本サッカー協会ユニフォーム規程第10条において適用除外を受けた日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)に所属するクラブの下部組織のチームは、当該クラブのトップチームと同一のユニフォーム広告を掲示することが認められる。但し、アルコール等、未成年チームにふさわしくない広告については除外する。

- ⑭日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)に所属するクラブの下部組織にあたるチームは、当該クラブのトップチームと同一のユニフォームを使用することができる。ユニフォームの広告表示については(⑬)に準じる。
- ⑮次回戦進出チームを決定するPK方式においてFPをGKとする場合、FPのサブユニフォームのシャツ、または、その選手と同番号のGKユニフォームのシャツを着用させる。

9 試合前のウォーミングアップ及び試合前チェック

- ①ウォーミングアップの場所・ゴール等の用具については、会場ごとに異なるため、会場責任者の指示に従うこと。(代表者会議において)
- ②ウォーミングアップとして会場を利用できる者は、登録された選手及びチーム役員(事前登録:5名以内)のみとする。
- ③試合前のチェックについて、ベンチ入り競技者は、試合開始時間の15分前~10分前の間に、試合に必要な用具を準備し(ユニフォーム等全ての用具を着用し)、大会本部が指定した場所でチェックを受けること。(戦術的指導を行う者(指導者)全員が必ず立ち会うこと。)

※選手証の提示は必要ない。

10 試合時間

- ①試合時間は40分(前後半各20分)を原則とする。
- ハーフタイムのインターバル(前半終了から後半開始まで):原則10分間
- ※試合中の飲水タイムの設定については、試合前の天候・気温等を踏まえ、各会場の運営責任者及び審判団で協議の上、設定することができる。
- ※アディショナルタイムの表示:各中央大会3回戦から適宜行う。
- ②規定の試合時間内に勝敗が決しない場合

- JFAU-12 サッカー選手権福岡県中央大会
1回戦~準決勝:ペナルティキック方式により勝利チームを決定する。(ペナルティキック方式に入る前のインターバル:原則1分間)
準決勝・決勝:10分間(前後半各5分)の延長戦を行い、なお決しない場合はペナルティキック方式により勝利チームを決定する。(延長戦に入る前のインターバル:原則5分間)
- 九州ジュニア(U-11) サッカー大会福岡県中央大会
規定の試合時間内に勝敗が決しない場合は、ペナルティキック方式により勝利チームを決定する。(ペナルティキック方式に入る前のインターバル:原則1分間)
- 九州ジュニア(U-12) サッカー大会福岡県中央大会
準決勝・決勝:10分間(前後半各5分)の延長戦を行い、なお決しない場合はペナルティキック方式により勝利チームを決定する。(延長戦に入る前のインターバル:原則5分間)

③落雷等、悪天候により試合を中断した場合の取扱い

中央大会試合中に、天候が急変し、試合を一時中断した場合は下記のとおりに対応とする。なお、再開の判断は、大会本部役員で協議の上決定する。

天候が回復した場合	○中断した時間から試合を再開する。
天候が回復せず、翌日以降に試合を再開する場合	○後半 10 分未満で試合を中断した場合は、翌日以降に残り時間を再開できる。その際、中断時点でのスコアを引き継ぐ。 ○後半 10 分経過後に中断した場合は、その時点でのスコアで勝敗を決する。（同点の場合は抽選とする。）
試合を再開できない場合	○中断した試合を再開できない場合は、中断時点の得点により勝敗を決する。同点の場合は抽選により勝敗を決する。
大会の継続が不可能な場合	○中断前の時点で勝ち上がっているチームを対象とし、抽選により順位を決定する。

11 交代の手続き

- ①交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。ただし、交代して退くゴールキーパーは、境界線の最も近い地点からフィールドの外に出なければならない。
- ②交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。
- ③交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。
- ④交代は、審判員の承認を得る必要はない。ただし、飲水時、ハーフタイム時における選手交代については、必ず、第 4 審、アシスタントレフリー、主審、いずれかに交代する旨を申告し、了承を得なければならない。
- ⑤ゴールキーパーは、事前に審判員に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。
※交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。

12 負傷者の対応

主審が認めた場合のみ、最大 2 名ピッチへの入場を許可される。

13 その他

「5 ベンチ入りするチーム役員の数」については、JFA の動向及び県内におけるライセンス取得講習会の実施状況を踏まえ、ジュニア委員会役員会で今後も適宜協議し、それにより変更が生じる場合は別途各地区に通知する。